

コード	501040701
記入日	H25.5.15

課コード	124
課名	学校教育課
課長名	濱崎 健也
担当者	青山 一信

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	小学校消防設備改修事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 28 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	501	施策名称	学校教育の充実	項コード	2
基本事業コード	50104	基本事業名称	教育環境の整備	目コード	1
事務事業コード	5010407	事務事業名称	小学校施設整備事業費	細目コード	966
関連計画		法令・条例規則等	消防法第17条「学校等の消防用設備等の設置及び維持管理」		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 小学校		(対象指標1)	14校			
(対象2) 小学校児童		(対象指標2)	1,077人□H24.5.1現在			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・消防法による学校消防設備等の改修事業の実施する。 →改修予定 7校	(平成24年度) ・消防設備改修を実施した。 →1校 北魚目小学校	改修校数	5校	71.4%	改修必要校数÷改修予定校数	平成28年度
		改修校数	1校	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	計画どおり消防設備の改修を行っている。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・消防法による屋内消火栓、自動火災報知機を改修し、安全で快適に学習できる環境を整備するとともに児童の安全を確保する。		安全で快適な教育環境の確保	-	-	-	平成28年度
		① (達成率分析)	消防法による屋内消火栓、自動火災報知機を改修し、安全で快適に学習できる環境を整備し、児童の安全を確保する。			
		② (達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 校	7	5	4	1	1		1	1	
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	35,419	29,322	24,579	5,840	4,743		2,500	2,500	
直接事業費 A	千円	31,219	26,522	22,479	5,140	4,043		1,800	1,800	
人件費 B	千円	4,200	2,800	2,100	700	700		700	700	
内 従事職員数	人	0.6	0.4	0.3	0.1	0.1		0.1	0.1	
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内 訳	国補助金	千円	5,252	5,252						
	県補助金	千円								
	起債	千円	4,800	3,800		4,800	3,800			
	その他	千円								
訳 一般財源	千円	25,367	20,270	19,327	1,040	943		2,500	2,500	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	安全で快適な教育環境を確保することは、町の責務であることから整備を継続するものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	安全を確保するための消防設備改修工事は、期待される成果につながっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	財源が必要となるが、計画を先取りして取り組むことで、さらなる成果につながる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	年次計画として取り組むことで、費用及び業務量に見合った活動結果が得られている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	現在の取り組みが最も効率的である。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	安全で安心な教育環境の適正な維持管理に努めており、地域防災への役割も果たしている。
	今後、課題に向けた改善策	学校の安心安全な境域環境のため、計画に基づき事業を進める。

2次評価	消防法により学校の消防設備等の維持管理が規定されており、安全で快適な教育環境を確保するため計画どおり事業を実施すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。